

□要請番号 (JL06023A01)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|------|----------|------|------|----|------|-----------------------|
| ネパール | C402 養殖 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2023/4・2024/1・2024/3 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業・畜産開発省

2) 配属機関名（日本語）

農林大学 畜産・獣医・水産学部 水産プログラム

3) 任地（バグマティ州チトワン郡ランプール市） JICA事務所の所在地（カトマンズ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約5.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

農林大学(Agriculture and Forestry University, AFU)は首都から5時間ほどの所に位置する、ネパールで唯一の農業技術に特化した大学である。同大学は農業学部、林業学部、畜産・獣医・水産学部から構成される。2018年に畜産・獣医・水産学部の水産養殖学科と水産資源学科の2つの学科にまたがる形で水産プログラムが新設された。これまで5バッヂの学士、6バッヂの修士、および博士課程の学生2名が卒業している。彼らの大半は国内および国際機関の水産部門で職を得ることから、AFUはネパールの水産養殖部門の発展に重要な役割を果たしている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の抱える課題としては、集約型養殖への移行に関する知識(現在は半集約型養殖を実施している)や、魚病予防、餌料生産、単性養殖といった技術の不足等が挙げられている。また、いざれは生物ろ過等を用いた閉鎖循環システムやアクアaponicsの導入といった次世代技術への移行も望んでいる。同大学は水産プログラムにおける教育の質を向上させ、国内の水産養殖の生産性を増加させるという希望を持っており、今般、同分野における経験の豊富なJICA海外協力隊の要請がなされた。隊員には、教授、助教授と共に、学生への指導を行いながら、水産プログラムの教育内容をアップグレードさせるための支援、助言が期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚、学生を対象に以下の活動を実施する。

- 主に鯉、ナマズ、ティラピアなど温水魚の集約型養殖システムの確立、運営に関する支援、助言。
- 餌料の生産に関する、教職員および学生への指導、助言
- 魚の病気の診断、検査分析に関する、教職員、スタッフ、学生への研修実施、助言。
- 淡水エビ、淡水真珠貝、クレソン、ヒシなど甲殻類・貝類・水生植物の養殖生産に関する、教職員、学生への研修実施、助言。

※4.の活動についてはオプショナルで、どのような活動でも可能な範囲で協力できると良い。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

集約養殖システム(FRP製タンク、小屋、給水)、餌料生産(水槽12、セメントタンク、池)、魚病予防(研究室、バイオセーフティキャビネット、インキュベーター、オートクレーブ)、甲殻類・貝類・水生植物の養殖(池、水槽、湿地、貯水池)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先上長:

水産養殖学科長、教授、男性、40代

水産プログラム・コーディネーター、教授、女性、40代

配属先同僚:助教授、研究員、アシスタント等、4名、男性、女性、30代~40代

活動対象者:学部生50名、修士19名、博士課程2名の学生

5) 活動使用言語

ネパール語

6) 生活使用言語

ネパール語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許] : ()

[学歴] : (大卒) 農学系 備考:配属先の要望による

[性別] : () 備考 :

[経験] : (実務経験) 10年以上 備考:実践的な指導をする活動のため

[参考情報] :

- ・集約型養殖に関する経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (熱帯モンスーン気候) 気温: (5~35°C位) [電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可) [水道] : (安定)

【特記事項】

学内の施設(レースウェイ方式)で扱われる魚種は、インド系鯉、中国系鯉、ナマズ、ティラピアなど温水魚である。